



# 審査シート

## ジェルコリフォームコンテスト2025

エントリー番号

4-3-0534-0

## タイトル

新旧を包括する再生リフォーム

応募部門：下記よりひとつを選んで◎を入れてください

- 戸建て全面     マンション全面     リビングダイニング  
 キッチン     サニタリー     個室  
 外まわり     玄関・ホール

## 基本情報

邸名	西尾市M様邸			築年数	30	年	構造	木	造	1	階建			
該当部分工事費	700 万円			総工事費	1,416 万円		建築確認申請の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無						
増築面積	-			減築面積	-		居住者構成	15歳未満	人	15歳以上65歳未満	2 人			
改装面積	80.36 m <sup>2</sup>			※増築・減築の面積を除く	65歳以上		人	ペット						
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報）	<input type="checkbox"/> 施主の居宅			30 年居住	<input type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用									
所在地	都道府県	愛知	市町村	西尾	完成年月日	2024年12月20日								

## 施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)

ご両親が住んでいた実家を譲り受けた若夫婦の新居計画。共働きのご夫婦からは限られた滞在時間をリラックスして過ごせるLDKの実現が求められた。また、旧リビングの隣に10年前に増築された洋室③を取り込んで、広いLDKを実現したいとの要望がありましたが、コスト面での心配も尽きません。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)  
設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など

LDKとして取り込む増築部が比較的新しく、特に床材（無垢）や壁材（杉板）が素敵だったので、これらを活かした計画に。新旧部分を違和感なく一体化するために、【天井（白）の一体化】【低天井（ラウン）の両ゾーンへのまたがり】【素材、色の限定】という3点を工夫しました。解体費用削減にも寄与しています。

## 施主様ご感想：満足度など(140字程度で)

リフォームというと躯体だけを利用して何もかも新しくするイメージでした。無垢の床や壁はそのままに、全体が馴染むように生まれ変わったことに驚きです。ちゃぶ台を置いて床に座る生活の癖から床に寝転ぶ習慣があったのですが、それを見た担当者さんが小上がりの畳スペースを作ってくれて、お気に入りの場所になっています。

## 性能向上の特性（複数選択可）

- 劣化対策     耐震性     維持管理  
 可変性     省エネ     パリアフリー

## 選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

部分解体のため断熱材を付加できない部分もあったが、開口部については全ての窓に対して、サッシ新設、もしくは内窓設置を施した。

## 性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）

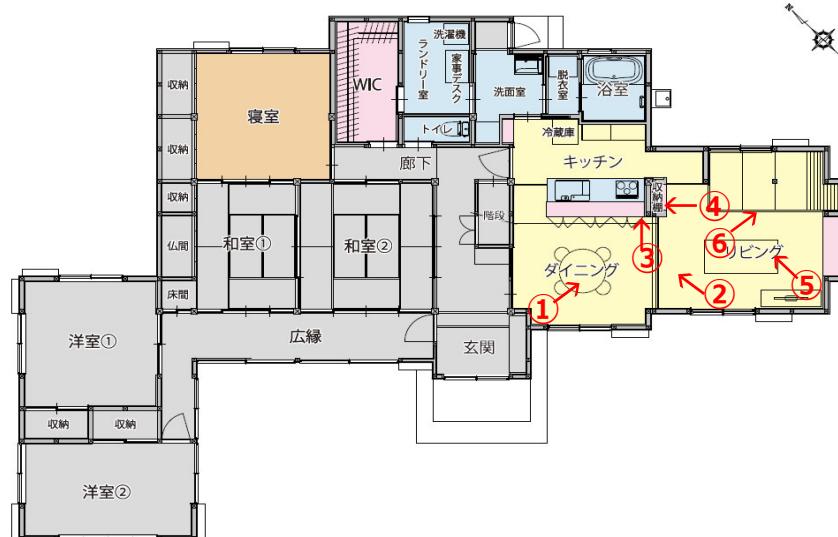
(※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)

## Before



## リフォーム後の平面図

## After



▲増築部の素敵な無垢フローリングと杉板壁を壊すことなく生かしたいと考えました。古きを生かすリビング、新たにつくるダイニングを違和感なく繋げるため、天井形状と素材感にこだわりました。



◀構造上撤去できない壁を中心回遊キッチンプランを提案。奥様希望のアーチデザインニッチも備え付けました。「壁が残るのは構造上仕方がない」というネガティブな要素を「この壁がプラン、デザインの中心になっている」というポジティブな見方に変換しました。



◀十分な広さがあるリビングには小上がりの畳スペースをつくりました。旧洋室の収納部分の構造を生かし、垂れ壁のおこもり感が特徴です。ソファを置くプランもありましたが「やっぱりゴロゴロできるスペースが欲しい！」とのご要望を叶える形になりました。